

事業所名 グループホームタナギの家
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)
B:現職 元介護療養型病棟看護師
資格・経験 看護師(8年)、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・訪問してすぐに入居者の方から歓迎の言葉をいただき、明るく楽しい雰囲気を感じられた。社会福祉法人夕張会の広い敷地の中に、特別養護老人ホーム・デイケアセンター・訪問介護・訪問看護・ケアハウス・老人保健施設等の併設施設、道を隔てて斜め向かいに診療所もあり、総合的なケアを受けられる。グループホームはケアハウスの4階(最上階)にあり、ケアハウスでの演奏会や催し物に参加する事でケアハウスの入居者とも交流がある。1階にある地域交流ホールでは、日曜日毎に喫茶店がオープンし、ケーキと飲み物が何種類もあり、グループホームの入居者も楽しみにしている。
- ・特に良いと感じたのは、毎日の生活に入居者がしっかりと関わっている点で、自主的に参加している方もいれば、職員の手順で参加される方もおり、それぞれできる事を自分の役割として楽しんでやっておられた。
- ・4階にあることでとても眺めが良く、住宅や道を走る車・眼下に広がる田園風景・目の前の小高い山等、見ていて飽きない。居間の南は屋上庭園になっており、畑やプランターで野菜や花を育てている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・広い敷地に関連施設が集まっている事で良い面もあるが、反面、敷地内から外出する事が少ないような気がする。敷地から出たり、来ていただくことで地域の方とも交流を持ち、活動の範囲を広げてみるのも大切ではないだろうか。
- ・職員は業務に追われる中で笑顔も飽やらず、入居者への声掛けもできており、職員の都合で急がせるようなことは無かったが、もっとゆっくりと入居者の話を聞いたり、買い物にも出かけたりするゆとりが欲しいと感じた。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>家庭的な雰囲気や、毎日明るく楽しく過ごしていただく事は勿論、タナギの家での生活で少しでも状態が改善し、在宅での生活が可能になることを目指している。</p> <p>以前、毎日していた家事や趣味を皆と一緒にすることで、昔していた事を思い出し、だんだんと自分ですることができるようになり、できる事で自信にも繋がり、張りのある生活が送れるようにと願っている。</p> <p>法人の理念として、『介護予防と自立支援』『権利の尊重』『人としての尊厳を守る』を掲げており、グループホームもその理念に沿った支援を目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>できるだけ一人で居室に閉じこもることが無いように心掛けている。昼は居室から出て皆で何かをしたり、冗談を言ったり楽しく過ごしたりすることでストレスを解消し、また、体を動かすことで夜間もよく眠れるようになる。皆と一緒に過ごすことで安心できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>調理をするのは皆さん大好きで、毎日圍着を着て下ごしらえは盛り付け・配膳等を楽しそうにしておられた。生活の中での手伝いは日課になっており、ごみ捨てや掃除もできる方は参加している。居室に長靴2足とぼうきを置いている方がおり尋ねると、「屋上庭園の仕事をする時に使う。」と笑顔で教えて下さった。得意の御歌を歌う方、以前木彫をしていた方は、公民館の教室への参加をご家族と相談している。</p> <p>個人情報には鍵のかかるロッカーに入れ、事務所から出さない事に決めている。居室への入室はロック、または声を掛け、入居者の了解を得てから行っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>言葉遣いや対応の仕方は、特に注意するように心掛けている。「『イケナイ・ダメ』等の禁止用語を使わない」ということは職員会議でも繰り返し伝えている。法人全体でも外部から講師を招き、勉強会を行う予定である。</p> <p>事故報告書で事故の状況を報告し、関わった職員全員で検討をする。その事は職員会議でも説明し、改善事項を職員で共有し、今後の事故防止に役立てている。</p> <p>前年の外部評価の結果で、要改善になった箇所の見直しをし、改善策を記載して事務所に貼り、職員全員で改善に向け努力している。</p>		